

公益財団法人豊田市文化振興財団
令和6年度第2回文化振興委員会

令和6年9月3日（火）午後3時
豊田市民文化会館 会議室 A

（ 次 第 ）

- 1 あいさつ
- 2 前回の委員会
 - (1) 議事録の確認
- 3 報告事項
 - (1) 令和6年度前期モニタリング報告について
- 4 協議事項
 - (1) 委員会の情報公開会議録（案）について
 - (2) 令和7年度事業計画（案）について
 - ・市民文化会館事業計画
 - ・文化事業課事業計画
- 5 その他
 - (1) 次回の委員会
 - 日 時 令和7年2月 日 () 時
 - 場 所 豊田市民文化会館（予定）

令和7年度 文化事業課 事業計画（案）

【事業ラインナップ】 ※共催は豊田市との共催事業 自主は財団自主事業（自己財源事業） 【重点施策・日付順】

R6.8.25

No.		事業名	重点施策	内容	今後（主に7年度）に向けた課題・取組み	期日（予定）	会場	予算（千円）	目標参加人数他（人）
1	共催	小倉百人一首かるた第63回全日本選手権大会・かるフェス	普及・啓発	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会を、全日本かるた協会と共催で開催する。	かるフェスにおいて、参加者増につなげるため、内容の見直しを検討	4月	名鉄トヨタホテル 参合館	1,000	200
2	自主	(新規) クラフト公募展	普及・啓発	工芸作家と愛好家が一堂に会して作品発表を行い、活動の活性化と交流連携を図る（支援事業）。		5月	文化会館	0	出展者90
3	共催	とよた将棋フェスタ	普及・啓発	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子ふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供する。	中学生の参加者数減少について、周知方法の見直し	6月	文化会館	1,296	120
4	自主	県文連芸能大会	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で舞台芸能祭を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。7年度は刈谷市開催。	開催内容や客層に合わせた、出演団体の選定	未定	刈谷市	72	出演1団体
5	自主	県文連美術展	普及・啓発	県内の文化協会と合同で美術展を開催し、市内における新人の発掘と愛好者の活動の活性化を図る（文化団体出品協力事業）。		11月	名古屋市	7	出展10
6	共催	秋季市民茶会	普及・啓発	お点前のレクチャーを行うなど市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催する。	「気軽なお茶会」をコンセプトに、市内外国籍の方も参加できる仕組みやPRの検討	11月	美術館	656	来場者300
7	共催	第46回とよた囲碁まつり	普及・啓発	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供する。	実行委員の高齢化による大会運営の見直しと参加者増の受け入れ態勢の検討	2月	文化会館	787	参加者120
8	自主	とよた演劇祭	普及・啓発 人材育成	演劇アカデミー及び演劇ファクトリー修了生を中心に市民が運営する演劇祭を開催する（支援事業）。		12月	市内	200	来場者200
9	共催	おいでんアート体験フェア	普及・啓発 人材育成	文化芸術を気軽に体験することで、子どもたちの育成と文化の担い手づくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作り事業。	会場が文化会館で定着しつつあるが、以前はスカイホール豊田で実施していたため、どちらが適しているのか検討	2月	文化会館全館 orスカイホール	3,927	体験参加者2,000
10	共催	とよた市民アートプロジェクト	普及・啓発 人材育成 地域創生	アートイベントを市民主導で作り上げることをきっかけにして、市民が積極的かつ継続的に文化芸術活動に関わることで、文化を創造し楽しむ風土を作るとともに、文化芸術を通じてまちづくりに参加する仕組みづくりと企画する側の人材育成を図る。	継続参加を生み出すプログラム作りと、その参加者を企画側へつなげる仕組みの検討	通年	市内各所	5,504	登録者20
11	自主	令和7年度豊田市文化振興財団大会	人材育成 創造	財団の基本方針を内外に示すとともに、文化振興や青少年健全育成、地域振興に業績を挙げた功労者を表彰する。	表彰の周知方法を見直し、被表彰推薦者数の増加につなげる	6月1日（日）	文化会館	2,414	来場者400
12	共催	とよたデカスプロジェクト	人材育成 地域創生	アート事業企画案を募集し、賞金の交付や広報によって取組を支援する。	事業採択者の支援方法、非採択者のフォロー	通年	各所	6,000	応募15組
13	共催	舞台芸術人材育成活用・創造事業 とよた演劇ファクトリー	人材育成	「演出コース」・「役者コース」など演劇人の養成及び演出、人材を育成する講座と公演を開催する（市民文化会館と連携）。	社会とのつながりを意識したカリキュラムの見直しや修了生の活躍の場を検討する	5月～2月 公演2月	文化会館 小ホール他	6,020	参加者25
14	共催	とよたこども創造劇場	教育	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	募集の周知方法、運営に携わるスタッフの育成	5月～11月 公演11月	文化会館	4,603	参加者40
15	共催	豊田市少年少女合唱団運営	教育	定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	団員減少のため児童生徒（学校）への広報・周知	通年 定演12月	定期演奏会: コンサートホール	9,902	団員数100
16	共催	豊田市ジュニアマーチングバンド運営	教育	定期演奏会、マーチング愛知県大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	団員増の受け入れ態勢と30周年事業の検討	通年 定演3月	定期演奏会: 文化会館orスカイ ホール	25,424	団員数100
17	共催	文化活動者派遣事業(アウトリーチ事業)	教育	小中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に寄与する（市民文化会館と連携）。	講師負担の軽減策検討および体験メニューの開発、申込校増への対応	7～12月	市内各小中学校	1,728	延べ40校
18	共催	吹奏楽フェスティバル2025	教育	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する（支援事業）。	演奏会だけに留まらず、ワークショップなど体験を通じた魅力発信についての提案	11月	文化会館	200	15校
19	自主	農村舞台アートプロジェクト2025	地域創生	農村舞台を会場として、シンポジウムとライブ公演を開催し、地元民と外国籍の方が文化を通じて交流を図る（市民文化会館と連携）。	多文化共生をテーマに、シンポジウムとライブ（歌舞伎、インド舞踊、フィリピンバンドなど）に挑戦	11月	市内農村舞台	2,100	参加者200
20	自主	イルミネーションストーリー-2025 inとよた	地域創生	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る文化イベントへの支援を行う（支援事業）。		11月～1月	豊田市街地	30	—
21	自主	村山哲豊田芸術選奨受賞記念展	鑑賞	豊田芸術選奨受賞者の芸術を広く鑑賞いただく作品展を開催する。	財団表彰制度への理解を含む来場者の増加	5月～6月	文化会館	889	来場者2,000
22	自主	(新規) 長谷法寿豊田芸術選奨受賞記念展準備	鑑賞	令和8年5月に開催する記念展の事前準備（事業PRおよびその宣材収集、打合せなど）		R8.5月	文化会館	600	—
23	自主	(新規) (仮)豊田東名ライオンズ50周年事業	鑑賞	梯剛之ピアノチャリティコンサートの開催について、PRや当日運営の支援（支援事業）		9月	文化会館	0	800

24	自主	文化情報・広報PR事業	創造	ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどにより、事業実施のPRや進捗・結果報告などの情報提供を行う。	発信する内容やタイミングなど、より効果的な発信方法 英語表記により、外国人向けの発信			0	—
25	自主	動画配信事業「アートくんの文化ちゃんねる」	創造	You Tubeによる動画配信サービスにより市内の文化情報、文化活動者の情報を提供する。年間8本。	部活動の地域移行に向け、会員紹介に軸足を置いた発信内容の検討	通年		1,000	年間8本
26	自主	文化情報誌「カレント」発行	創造	市内で開催される文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報提供を行う	豊田の文化について、外国人目線での記事を入れることで、新たな顧客の創出に挑戦	季刊		3,299	4季各5,000部
27	自主	西三文協連絡協議会 県文連総会	貸館	各団体が主導する美術展等の開催に豊田市民が参画できるよう情報収集と開催支援事務を行う。		4月 5月	みよし市 名古屋市	65	—
28	自主	市民文化活動助成事業	貸館	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	事業実施者のニーズに応じた助成のあり方	通年		536	応募14団体
29	自主	市民文化活動支援	貸館	市民の文化活動に対する後援事務、文化団体の公演へのPR補助などを行う。		通年		0	—
30	自主	豊田文化団体協議会運営	貸館	市民が参画する協議会の運営事務や定期的な役員会、委員会を開催支援する。		通年		0	—
31	自主	音楽練習場運営	貸館	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。		通年		198	特定6団体
		(廃止) 西三河美術展		西三河地区の文化協会と合同で美術展を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。6年度は碧南市開催(隔年)					
		(廃止) 毎日書道展第75回記念 毎日現代書巡回展 豊田展		全国巡回の毎日書道会の作品と東海地区を中心とした各会派の作品を集めた現代書の巡回展(6年度のみ開催予定)					

令和7年度 市民文化会館 事業計画（案）

【事業ラインナップ】 ※共催は豊田市との共催事業 自主は財団自主事業（自己財源事業）

R6.8.25

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	今後の課題	期日	会場	予算案(千円)	目標参加人数他
1	自主	新規【一般向け事業】 ゴスペラーズ コンサート	鑑賞	日本を代表する男性アカペラボーカルグループによるコンサート。30周年記念祭（コンサートツアー）が2024年12月から始まる。メンバー人が愛知県出身であり、故郷の会場として豊田市に登場する。	近年、歌謡ショー・コンサートは近隣の自治体の劇場・ホールでの開催はあるものの豊田市では少なくなっている。民間プロダクションの実施が無いのであれば回数は少なくとも公共が開催して需要に応える必要がある。	5月	大ホール	7,095	1,000
2	自主	【一般向け事業】 宝塚歌劇団公演	鑑賞	宝塚歌劇団による全国公演。 ※当館が歌劇団が希望する劇場の機能を持ち合わせている。 県内では他に愛知芸術劇場のみ。	舞台芸術を楽しむ機会を市民に対して公共が安価に提供し、市民自らが舞台芸術に触れる機会を創り、気軽に舞台芸術に親しむ顧客としてステップアップに運動できるとよい。 宝塚歌劇団公演は会場の事情が開催の可否に影響しており、豊田市を中心にした広域圏の事業として取り組む必要がある。	5月	大ホール	620	1,200
3	自主	【こども向け事業】 劇団四季ファミリーミュージカル	鑑賞	劇団四季の提供するファミリーミュージカルの公演。費用対効果を上げるため、豊田市、劇団四季、財団と三者契約のうえ「豊田市こころの劇場」と同演目を2日連続開催。	鑑賞者が、ホールやホール公演の愛好者へとステップアップしていけるとよい。また、豊田市及び近隣で演劇公演等の公演が頻繁に行われるような誘致にも注力する必要がある。	7月	大ホール	4,664	1,200
4	自主	新規【親子向け事業】 きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル	鑑賞	幼児に人気の「きかんしゃトーマス」のマスクミュージカル。10年振りの新作舞台。 家族で劇場に足を運ぶ機会の創出として欠かせない低年齢対象の事業。	舞台公演に親しむ気軽な取組み等から、公演へ顧客としてステップアップしていく運動企画ができるとよい。シアタースタート企画などは実施例が少な目だが、他館の取組みを研究していきたい。	11月	大ホール	216	1,200
5	自主	【演芸・芸能事業】 とよた寄席	鑑賞	東西の人気落語家による落語会。市内の落語愛好団体と共働で開催する。	当館主催では稀有な市民団体との連携がある公演を市民団体と今後も継続するのか、市民団体の手に委ねるのかタイミングの見極めが必要。	12月	小ホール	1,509	400
6	自主	【地域記録事業】 とよた定点観測	地域創生	4月1日に定められた場所でのビデオ撮影や、年間を通して定められた場所で写真撮影を行い、豊田市の変遷を記録する。	記録のアーカイブ化や具体的な活用方法を検討する必要がある。 個人情報保護の観点から展示・公開を前提にした撮影をする必要がある。	映像：4月1日 写真：通年	映像：豊田市駅周辺 写真：市内各所（定点）	150	—
7	共催	【市民参加事業】 豊田市民アート展	普及・啓発	連盟・協会や財団会員のグループ・個人が一堂に会し、共に作品を展示する。	財団大会の日程に合わせた開催日程を組むことで、関係者の集客を図りたい。	5月～6月	展示室A・B・C・D 多目的ホール	424	出展 60
8	自主	【市民参加事業】 歳末チャリティ作品展	社会包摂	豊田市を拠点に活動するアーティストから提供されたアート作品の展示即売を実施し、その収益を社会福祉のための寄附に充当する。 豊田市文化団体協議会の協力を得て実施する。	チャリティの方法や寄付先を福祉にこだわらず寄付先を作家や購入者が選べるなど、社会包摂事業へ拡大していく等、文化芸術を活かした社会貢献への変化を検討したい。 (寄付先の例：社会福祉協議会、こどもアート体験プロジェクト、こども食堂、UNHCR、Unicef等)	12月	展示室A・B	746	出展 120
9	自主	【施設利用推進事業】 舞台お困りごと相談窓口	利用促進	初めて施設を使う人、利用を考えている人の背中を押す事業。事業実施迄に必要な内容（施設使用料金・企画・申込み・打合せ等々）のアドバイスやノウハウの提供、施設見学をパッケージして利用者の支援をする事業。	毎月機会があることを活かし、月毎にテーマを設け、現利用者を含むニーズのある人にアピールし、この機会を利用し易くする環境を整える方法も検討したい。	通年	—	158	30
10	自主	【施設利用推進事業】 げきじょうたんけんツアー	普及・啓発	文化活動の拠点施設の「うらがわ」を子どもたちに体験してもらおうミステリーツアー。会館の裏側を探検する機会を通して、舞台芸術の現場やそこに携わる仕事の数々を子ども達が知る機会とし、子ども達が自らの将来を考える上で選択の幅を広げるきっかけとしたい。	親子向け事業として実施するが、大人向けのツアーや学生・高校生のインターンシップや中学生の職場体験とのコラボも考えていきたい。	8月・12月	—	131	60
11	受託	【市民交流事業】 つながりリビング事業	地域創生	館内カフェのフリースペース「つながりリビング」を活用し、交流を創出するワークショップや展覧会、ミニコンサート他を開催。 ※「お手軽映像制作講座」（スマホでアニメ）を含む。	ホール利用の無い週末や祝日、平日に来館者を増やす工夫や企画を開発・試行を繰り返し、定番の企画を増やす必要がある。 飲食目的の来場者にも楽しんでもらえるカフェ営業時間内の企画と、営業時間外に会場を占有する企画に色分けすることで、それぞれのニーズに応えられる運営方法の確立が必要。	通年	つながりリビング	607	—
		【市民参加事業】 お手軽映像制作講座	利用促進	スマートフォンを使った簡単映像制作のワークショップを開催。制作映像のYouTube投稿や家族・仲間での楽しみの機会に繋げる。	映像制作を身につけた後、どんな活用方法や楽しみ方があるのかを技術と同時に学び、普及啓発の成果が参加者にも分かる内容に作り変えていきたい。	1月～3月			
12	自主	【鑑賞機会創出事業】 とよた☆あしながプロジェクト	社会包摂	企業・団体・個人の協力のもと、当館事業の公演チケットを市内の親子にプレゼントし、音楽や伝統芸能の鑑賞機会を提供し、家族のコミュニケーション機会の創出と様々な理由でアート体験の機会に恵まれない子どもたちへのプレゼントの二つの目的達成を目指す。	支援をする側（寄付者）の拡大に努め、劇場を通じて行われる社会貢献の形・機会を広く市民に周知したい。また、他団体が実施する親子支援事業と連携し相互協力し、より広い支援の輪を構築する必要がある。 フードパントリー事業でつながりのある子ども食堂ネットワークを活用したPRを強化する必要がある。	通年	—	222	—
13	自主	【地域活動支援事業】 こども食堂フードパントリー事業	社会包摂 地域創生	空きスペースの地下食糧庫を有効活用し、とよたこども食堂ネットワークと連携して、市内全てのこども食堂へ提供された食材の一時保存を支援する。 今年度はこども食堂ネットワークの定例会に積極的に参加し「あしながプロジェクト」との連携を取っていく。	こども食堂運営の支援を通して、支援のニーズを把握し、必要な支援と劇場が出来ることを結びつける。	通年	地下食糧庫	102	—
14	共催	豊田市「こころの劇場」支援	事業協力	豊田市が小学6年生を招待し毎年実施する「こころの劇場」の開催を施設管理者として支援する。		7月	大ホール		

16	自主	【地域活性化事業】 農村舞台アートプロジェクト	地域創生	文化事業課に同じ	文化事業課予算	
17	共催	【舞台芸術人材育成活用・創造事業】 とよた演劇ファクトリー	人材育成			
18	共催	【学校アウトリーチ事業】 文化活動者派遣事業	教育			